

【コース】 医科学への道すじ

【コースディレクター】

CD：中平 健祐(教養教育)

【コースの概要】

みなさんはこれまで、一般的な基礎知識として自然科学を学んできました。もしかしたら試験のために勉強したという人もいるかもしれませんが。今日からは違います。医師になるために自然科学を学びます。医学部では、医学と医療を支える大切な柱として医科学（Medical Sciences）を身につける必要があるのです。使えない知識の断片、丸暗記しただけの数式、試験が終われば忘れてしまう名前、そんなものではなんの役にも立ちません。医学の進歩は日進月歩です。深い理解に裏付けされたしっかりした土台をつくらないと、ついて行くことはできないのです。

みなさんはすでに、膨大な量の知識を持っています。10年以上勉強を続けてきたのですから。今必要なのは、その知識を生かして医科学を学んでいくように、スイッチをいれかえることです。この医科学への道すじコースはそのために設けられました。自分が自然科学の基礎知識として何を学んできたのかを確認し（自然科学の基礎ユニット）、それをヒトの科学として生かしていく方向を見いだし（医科学入門ユニット）、後続くさまざまなコースを学ぶための方法と心構えを築きます。さらに、論理的な理解・思考・表現の技術を学び（科学的思考と表現ユニット）、自らテーマを決めて深く掘り下げること（医科学の探索ユニット）によって、自己学習のスキルを身につけます。このコースがみなさんにとって、大学で学ぶということ、特に医学部で学ぶということを考えるきっかけとなることを願っています。

【目 標】

1年次の学習に必要とされる基礎知識を概括・補足し、それを医学に適用し、さらに深く自己学習することを通じて、医科学を学ぶ上で必要な方法と態度を身につける。

【学習方法】

各ユニットの項を参照すること。

【評価方法】

各ユニットの項を参照すること。